

リアルタイム事務事業評価調書①【会議資料】

令和 7 年 7 月 10 日 作成

事業名	施策評価					
担当部署	部	政策経営部	課	企画政策課	係	政策担当

A) 基本情報

基本施策	該当する施策・予算はなし
分野別施策	
展開方向	
予算科目	
事業名称	

B) 事業概要・事業目的

事業の概要・目的	<p>①施策評価は、『輝きプラン』で設定した26施策について、各施策の振り返り及び今後の進め方を検討することを目的に実施してきた。</p> <p>②輝きプランは、A) 基本施策→B) 施策（全26施策） →C) 施策の展開方向 →D) 展開方向毎の具体的な取組で構成されている。なお、リアタイ評価はDの部分に係る評価である。</p> <p>③輝きプランが目指すものは②のAであり、施策評価は、Dの評価の実施により、上位のBがどの程度の達成レベルにあるか評価するものである。</p>
----------	--

C) 過去の実績（事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可です。

実績の説明	単位	令和5	令和6	令和7
① 施策評価 報告書の作成	回	1	1	1
② 市民意識調査の実施	回	1	1	実施予定なし
③				
④				
⑤				
数値として出せる実績はない（下記に理由を記入↓）				
実績を出せない理由				

D) 昨年度（令和6年度）における事業の課題や反省点

①	これまでの施策評価は、各課長による事務事業評価のまとめに留まっている。事務事業評価はリアタイ評価に置き換えている。
②	施策の評価として機能することが難しい状態で評価をスタートし、現在に至っている。
③	『輝きプラン』では施策評価を行うと明記している。（※P166に記載）
④	市民意識調査は、施策レベルで市民評価を加味した分析を行い、施策評価に近い内容となっており、ChatGPTを導入するなど分析精度の向上を図っている。なお、市民意識調査は、隔年実施かつ、重要施策のみを対象としている。

E) 令和7年度の事務の進め方（予定含む）※なるべく時系列に沿って記入してください。

①	・8月 市民意識調査の分析結果を元に、各部署単位で施策の振り返りを行うよう依頼する。
②	※振り返り用の新たなシートの作成を検討する
③	・年内 各部の振り返りをまとめる
④	
⑤	※市民意識調査の分析結果を元に、各部が施策の振り返りを行う方式の施策評価に変更する。
⑥	（※ただし重要施策のみ、隔年実施となる）
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

F) 令和7年度中に目指す目標・状態

※「〇〇意識を高める」、「理解を深める」等といった成果が不明確な目標ではなく、できるかぎり効果が数値化できる目標にしてください。

これまでの施策評価のやり方を次のとおり見直す。
 →市民意識調査の分析結果を元に、各部が施策の振り返りを行う方式の施策評価に変更する。
 市民意識調査が隔年実施のため、施策評価も隔年実施及び重要施策のみの評価としたい。

G) 当該会議で聞きたいこと

※ある場合のみ記入してください。詳細は会議で説明してください。

①	上記 F) の見直しについて意見を聞きたい。
②	
③	
④	

H) 評価会議での意見・助言等

①	様式は指定せず、各部長たちに分析・資料の作成をさせてみてはどうか。
②	
③	
④	
⑤	

① 子どもたちの笑顔があふれるまちづくり

重要施策 1

施策 1-1
子育て支援

施策の内容及び体系

誰もが地域の中で安心して妊娠、出産、子育てができるよう、切れ目のない支援を行い、子どもたちの豊かな心と幸せを育むことができるまちづくりを進めていきます。

展開方向 1 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり

展開方向 2 子どもたちの成長と発達を支援する環境づくり

展開方向 3 支援や配慮を必要とする子どもたちを支える環境づくり

成果指標

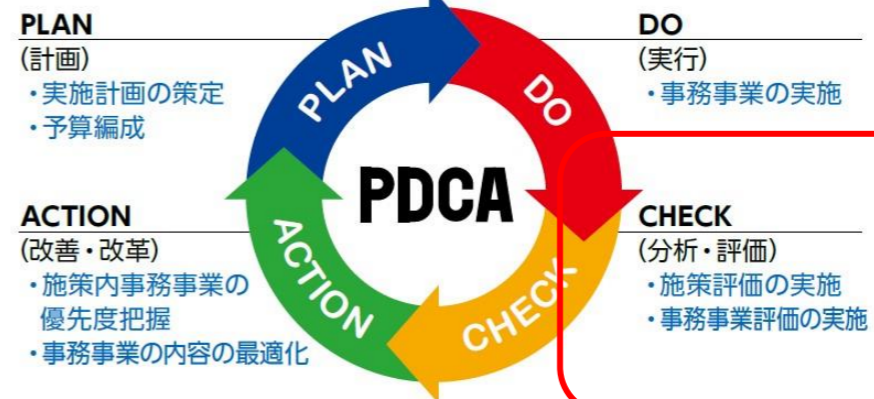
指標名	説明	現状値	目指す方向
「子育て支援」施策に対する市民の満足度	市民意識調査において、近年の市の主な取組を参考として、「子育て支援」施策に「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した市民の割合	33.4% (令和3年度)	満足度の向上

『輝きプラン』P166

4 Action (改善・改革)

施策評価及び事務事業評価の結果に基づき、施策内事務事業の優先度を把握します。
 その上で、限られた財源を有効に活用するため、優先度の低い事務事業を縮小又は廃止し、他の優先すべき事務事業の財源とします。あわせて、事務事業評価の結果に基づき、事務事業の最適化を図ります。

図表 第五次基本計画の進捗管理 (PDCAサイクル)



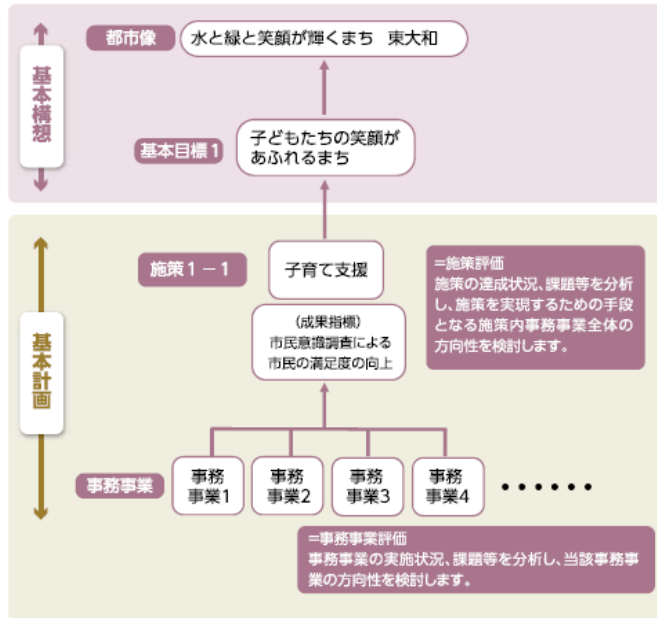
第2章 行政評価と「まちづくりの目標」との関係

行政評価は、施策の達成状況や事務事業の実施状況等を分析し、それぞれの将来的な方向性を検討するために実施するものです。

一方で、第五次基本計画は、第三次基本構想で掲げた「まちづくりの目標（都市像及び基本目標）」の達成のために策定するものであり、行政評価と「まちづくりの目標」との関係は、以下のとおりとなります。

都市像の実現に向けては、基本目標の達成が必要であり、そのためには施策の実現が必要となります。この施策の達成状況等を分析するのが施策評価であり、施策の下の事務事業の実施状況等を分析するのが事務事業評価です。

図表 行政評価と「まちづくりの目標」との関係（例：施策1-1 子育て支援）



リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・取組予定】

令和 8 年 3 月 16 日 作成

事業名	施策評価					
担当部署	部	政策経営部	課	企画政策課	係	政策担当

A) 会議を踏まえて、今年度中に取り組むことや事務の方向性など

または会議後に対応したこと、参考としたことなど

①	各施策の関連課長が施策評価シートに記入するこれまでの施策評価の手法を廃止し、部長職が市民意識調査の結果をもとに施策の結果の分析を行う手法へと変更した。
②	また、これまで事務局側で作成していた記入シートを廃止し、分析結果を関連部長が集まって共同で作成する手法に変更した。
③	これにより、市民意識調査と施策評価を連動させ、各施策下の個別事業の改善につながることが期待できるとともに部同士の縦割りをなくし、分野横断的に政策の検討を行う環境を整備した。

B) R7年度の実績(事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果)

実績の説明	単位	目標値	R7実績値	【参考】R6実績値
①				
②				
③				
④				
⑤				
○ 数値として出せる実績が得られなかった(下記にその理由と当初の目標と代替する目標あれば記載してください)				
理由及び代替する目標	当事業は実績を数値で評価することがないため			
R7実績は過去と比べて	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 例年通り <input type="checkbox"/> 低下した <input type="checkbox"/> その他	左記とした理由 又は 分析等(向上・低下した要因等): 各施策に関連する部課長と一緒に市民意識調査結果を分析することで、部という組織を超えて、施策の現状や課題を確認できた。 一方で、市民意識調査結果のみで施策評価を行うことについて、実際に評価を行った部課長から課題があると意見をもらった。		

C) 来年度以降の課題や見直すべき点

※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	市民意識調査の満足、不満足という質問だけでは、施策評価自体が難しい。市民意識調査の設問の工夫が必要。また、指標が満足度でしかないため、施策にかかるコストが見えない。
②	市民意識調査結果だけでなく他の調査結果やアンケートも施策評価に活かすことを検討する。
③	
④	

D) 来年(令和8年度)の取組予定

※事務予定または改善事項を記入してください。

①	取組内容	市民意識調査の実施
		・市民意識調査の設問の見直し
		・市民意識調査の実施
		・市民意識調査の集計、事務局側での分析
取組終了時期	令和8年8月までに実施	

②	取組内容	施策評価の実施
		・施策評価の手法の見直し
		・施策評価の実施依頼
		・政策検討会議での報告、HPでの公表
取組終了時期	令和8年12月まで実施	
③	取組内容	
取組終了時期		

【予算への反映状況】

(8 年 月 日 時点)

予算科目	会計	一般	款	0	項	0	目	0	事業番号	0
事業名称	0									

予算額比較(R7-R8) (単位:円)

※会計年度任用職員に係る経費(報酬等)は記入不要です。

R7予算額(①)		R8予算額(②)		差額(②-①)	
事業費合計	0	事業費合計	0	事業費合計	0
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般		一般		一般	
国		国		国	
都		都		都	
市債		市債		市債	
その他		その他		その他	

予算額比較に差額が生じたか(変更したか)

<input type="checkbox"/>	生じた/変更した	<input checked="" type="checkbox"/>	生じていない/変更していない
--------------------------	----------	-------------------------------------	----------------

上記の要因/理由

①	本事業にかかる予算計上はないため。
②	
③	
④	
⑤	